



日本育療学会 第21回学術集会

日時 2017年8月26日(土)・27日(日)

場所 ホテルグランヴェール岐山
(岐阜市柳ヶ瀬通6丁目14番地)

学術集会長 大見サキエ
(岐阜聖徳学園大学 看護学部)

学術集会ホームページ <http://ikuryo21.com>

携帯用QRコード



絵：森 邦生

改めて、医療と教育の連携 ～もう一歩前に進めるために～

病気の子どもの復学支援体制を構築するためには、保健・医療・福祉・教育・行政の多職種が連携して、進めていく必要があります。今回は、**医療と教育の連携を主に**、当事者のニーズに沿った連携のあり方を考えていきます。

最近では、通常学級における病気の子どもの在籍は珍しくなく、医療的配慮や緊急時対応、入退院・復学等の対応で医療機関との連携も必要となってきました。そこで、特別支援教育に関わりのある先生方はもちろんのこと、**通常学級の先生方**、そして、**医療関係者の方々**、保健・福祉関係の方々にも、多数ご参加いただき、皆様方からもう一歩連携を進めるためのヒントを頂きたいと思っています。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

1日目 8月26日(土) 12:00より受付開始

◆学術集会長講演

**病気療養児の復学支援体制の構築
—現状と課題—**

大見サキエ(岐阜聖徳学園大学 教授)

◆特別講演

**日本育療学会は何を求めてきたのか。そして
これからは、何を求めていくべきか～私案～**

横田 雅史(帝京平成大学 教授)

※プログラムの詳細は大会HPをご参照ください

2日目 8月27日(日) 8:30より受付開始

◆基調講演

**小児がん診療と長期入院患児への学習支援、
復学支援の試み —名古屋大学病院の場合—**

高橋 義行(名古屋大学大学院 教授)

◆シンポジウム

**がんの子どもの復学支援から連携を探る
—当事者の支援につなげるために—**

医療・学校の現場の状況をもっと知ろう！—

シンポジスト: 医療者(看護師)、学校教員、当事者家族

コメンテーター: 医療者、学校教員

事務局 岐阜聖徳学園大学看護学部 前田尚子
〒501-6194

岐阜県岐阜市柳津町高桑西1丁目1

E-mail ikuryogifu21@gmail.com

主催: 日本育療学会

後援: 文部科学省、厚生労働省、岐阜県・市教育委員会、
公益社団法人岐阜県看護協会、一般社団法人日本小児看護学会、全国特別支援学校病弱教育校長会、全国病弱虚弱教育学校PTA連合会、全国病弱虚弱教育研究連盟、認定NPO法人難病の子ども支援全国ネットワーク

